

ごみ収集の在り方等検討委員会の役割について

1. ごみ収集の在り方等検討委員会

(1) 目的

◇平成 26 年度に策定した「武蔵野市一般廃棄物処理基本計画」に基づき環境負荷及びごみ処理費用の低減に資するごみの収集・回収の在り方等について、総合的な検討を行う。

(2) 主な論点

- ① 環境負荷及びごみ処理費用の低減に資する資源ごみの収集頻度及び分別区分の見直しに関すること。
- ② 資源ごみ回収頻度を減じた場合の資源ごみ発生量の削減効果に関すること。
- ③ 集団回収・店頭回収・拠点回収等の普及が資源ごみの行政収集に及ぼす影響に関すること。
- ④ 集団回収の見直し及び店頭回収等を支援する施策の創出に関すること。

(3) 委員構成

委員会の委員は、市民、事業者、学識経験者及び市職員のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

(4) 任期

◇任期は平成 28 年 8 月までとする。検討結果を市長に報告する。

* その後は、一般廃棄物処理基本計画に位置付けられた課題検討のための組織としてのごみ減量協議会において、施策の見直し時期と連動した、課題検討を行う。

<検討イメージ>

